

I 現行の一般入試 (P. 1~6)

II 現行の推薦入試 (P. 7~10)

III 全国の入試制度 (令和3年度入試、全日制) (P. 11~22)

# I 現行の一般入試

## 1 主な経緯

年度（西暦）	内 容																	
昭和39（1964）	・面接について、一部の学校で開始（県教委の事前承認が必要）。																	
昭和42（1967）	・学力検査は国語、社会、数学、理科、英語の5教科各100点（2日間）。																	
昭和47（1972）	・英語でヒアリングテスト（現リスニングテスト）導入。																	
昭和50（1975）	・学力検査を5教科各60点、検査日を1日に変更。																	
昭和59（1984）	・適性検査について、体育科で開始。																	
昭和60（1985）	・面接について、全高校での実施開始（選抜資料としない）。																	
昭和62（1987）	・面接を選抜の総合判定の資料に追加。 （得点化はしない。総合判定の資料として扱う。）																	
平成2（1990）	・調査書に中学1年の成績を記載（得点化はしない）。																	
平成10（1998）	・理数科、国際関連学科で学力検査点の傾斜配点を導入。																	
平成16（2004） （推薦入試の廃止）	<p>・学力検査を5教科各100点、検査日を2日間に変更（検査日の1週間程度前倒し）。</p> <p>1日目：学力検査（5教科）、自己アピールカードの記入 2日目：面接、英語応答試験</p> <p>・英語による応答試験の導入。</p> <p>・面接を得点化（自己アピールカードの導入）。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>学力検査</td> <td>500</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">1000</td> </tr> <tr> <td>調査書（9教科の中学2、3年生の評定）</td> <td>330</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">500</td> </tr> <tr> <td>小論文・作文 ※一部</td> </tr> <tr> <td>適性検査（実技等） ※一部</td> </tr> </table> <p>・異なる評価尺度での選抜を行うために、ABC選考を導入。</p> <p>A選考は、学力検査：調査書、面接等 = 5：5 ※ A選考では普通科以外で数学、英語、理科の傾斜配点可。</p> <p>B選考は、学力検査：調査書、面接等 = 3：7、2：8又は1：9 C選考は、学力検査：調査書、面接等 = 7：3、8：2又は9：1 ※ B、C選考の配点比は各校で決定。</p> <p>・選抜は、次の①～④から各学校が選択した方法により実施。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>①</td> <td>A選考50% → B選考40% → C選考10%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>A選考60% → B選考30% → C選考10%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>A選考70% → B選考20% → C選考10%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>A選考80% → B選考10% → C選考10%</td> </tr> </table>	学力検査	500	1000	調査書（9教科の中学2、3年生の評定）	330	面接	500	小論文・作文 ※一部	適性検査（実技等） ※一部	①	A選考50% → B選考40% → C選考10%	②	A選考60% → B選考30% → C選考10%	③	A選考70% → B選考20% → C選考10%	④	A選考80% → B選考10% → C選考10%
学力検査	500	1000																
調査書（9教科の中学2、3年生の評定）	330																	
面接	500																	
小論文・作文 ※一部																		
適性検査（実技等） ※一部																		
①	A選考50% → B選考40% → C選考10%																	
②	A選考60% → B選考30% → C選考10%																	
③	A選考70% → B選考20% → C選考10%																	
④	A選考80% → B選考10% → C選考10%																	
平成19（2007） （推薦入試の導入）	<p>・検査日を1日に変更。</p> <p>・英語による応答試験の廃止。</p> <p>・自己アピールカードの事前提出開始。</p> <p>・配点を見直し、面接、小論文・作文、適性検査を170点から70点に変更。</p>																	

	学力検査	500		900
	調査書（9教科の中学2、3年生の評定）	330	400	
	面接	70		
	小論文・作文 ※一部			
	適性検査（実技等） ※一部			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ABC選考の見直し。  A選考は、学力検査：調査書、面接等 = 5：4  ※ A選考では普通科以外で数学、英語、理科の傾斜配点可。  B選考は、学力検査：調査書、面接等 = 3：7、2：8又は1：9  C選考は、学力検査：調査書、面接等 = 7：3、8：2又は9：1  ※ B、C選考の配点比は各校で決定。</li> <li>・選抜は、次の①～⑦から各学校が選択した方法により実施。</li> </ul>				
①		A選考50% → B選考40% → C選考10%		
②		A選考50% → B選考30% → C選考20%		
③		A選考60% → B選考30% → C選考10%		
④		A選考60% → B選考20% → C選考20%		
⑤		A選考70% → B選考20% → C選考10%		
⑥		A選考70% → B選考10% → C選考20%		
⑦		A選考80% → B選考10% → C選考10%		
平成28（2016）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書の中学1年の成績を得点化。</li> <li>・配点の見直し。</li> </ul>			
学力検査		500		1000
調査書（9教科の中学1～3年生の評定）		440	500	
面接		60		
小論文・作文 ※一部				
適性検査（実技等） ※一部				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ABC選考の見直し。  A選考は、学力検査：調査書、面接等 = 5：5  ※ A選考では普通科以外で数学、英語、理科の傾斜配点可。  B選考は、学力検査：調査書、面接等 = 3：7  C選考は、学力検査：調査書、面接等 = 7：3</li> <li>・選抜は、次の①～⑦から各学校が選択した方法により実施。</li> </ul>				
①		A選考100%		
②		A選考70% → B選考30%		
③		A選考70% → B選考20% → C選考10%		
④		A選考70% → B選考10% → C選考20%		
⑤		A選考70% → C選考30%		
⑥		A選考70% → C選考20% → B選考10%		
⑦		A選考70% → C選考10% → B選考20%		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時制成人枠を導入。</li> </ul>				

## 2 一般入試に係る状況

### (1) 志願倍率の低下

- ・ 全県の志願倍率は低下傾向にあり、平成 27 年度入試以降 1 倍を下回っている状態。
- ・ 各高校及び学科の志願倍率について、1 倍を下回っている高校及び学科が約 8 割の状態。
- ・ 各学科の検査について、数学・英語・理科の傾斜配点、小論文又は作文といった多様な方法で実施する学科がごく一部となっている状態。
- ・ 各学科の選抜方法は、A 選考のみとする学科の割合が約 6 割となっており、異なる評価尺度で選抜を行う学科は減少傾向。

### (2) 全受検者に実施している面接

- ・ 1 人当たりの面接時間は、全高校の平均で約 4 分で、小規模校よりも中・大規模校が短く、約 3 分半の状態。
- ・ 志願者が作成する資料（自己アピールカード）の作成指導が中学校にとって大きな負担となっている状態。
- ・ 受検者は周到な準備で臨むため、各受検者の評価には差が出にくい状態。

### (3) 県教育委員会でのスクール・ミッション策定、各高校でのスクール・ポリシー策定

- ・ 令和 3 年 3 月に学校教育法施行規則が一部改正され、学校設置者が各高校の存在意義・社会的役割等を明確化し再定義することとなった（**スクール・ミッション**）。
- ・ 令和 3 年 10 月に県教育委員会は「いわての高校魅力化グランドデザイン for 2031（岩手県立高等学校に関するスクール・ミッション）」を策定。
- ・ 各高校は、地域や関係機関と連携しながら、令和 4 年度中に入口から出口までの教育活動の指針を定め、公表（**スクール・ポリシー**）。
- ・ スクール・ポリシーは、「育成を目指す資質・能力に関する方針」、「教育課程の編成及び実施に関する方針」、「入学者の受入れに関する方針」の 3 つの方針。

【一般入試に関するデータ】

1 志願者数、志願倍率等（全日制）

年度（西暦）	志願者数	志願倍率 （調整後）	志願倍率 1 倍未満		学校数及び学 科数
			学校数（割合）	学科数（割合）	
平成16（2004）	12,969	1.04	36校（46.8%）	66学科（43.1%）	77校153学科
平成17（2005）	12,385	1.04	40校（51.9%）	69学科（46.0%）	77校150学科
平成18（2006）	12,167	1.04	37校（49.3%）	61学科（41.5%）	75校147学科
平成19（2007）	11,297	1.06	36校（48.6%）	53学科（38.1%）	74校139学科
平成20（2008）	10,520	1.05	31校（46.3%）	55学科（42.6%）	67校129学科
平成21（2009）	10,268	1.04	30校（46.2%）	45学科（35.7%）	65校126学科
平成22（2010）	10,252	1.05	27校（42.2%）	56学科（44.8%）	64校125学科
平成23（2011）	9,601	1.01	37校（57.8%）	61学科（48.8%）	64校125学科
平成24（2012）	9,373	0.99	36校（56.3%）	64学科（51.2%）	64校125学科
平成25（2013）	9,162	0.98	39校（60.9%）	68学科（54.4%）	64校125学科
平成26（2014）	9,187	1.00	35校（55.6%）	66学科（53.2%）	63校124学科
平成27（2015）	8,627	0.93	42校（66.7%）	79学科（63.7%）	63校124学科
平成28（2016）	8,753	0.94	43校（68.3%）	78学科（62.9%）	63校124学科
平成29（2017）	8,506	0.92	43校（68.3%）	75学科（60.5%）	63校124学科
平成30（2018）	7,977	0.90	44校（69.8%）	78学科（63.9%）	63校122学科
令和元（2019）	7,642	0.89	46校（73.0%）	81学科（67.5%）	63校120学科
令和2（2020）	7,088	0.87	47校（75.8%）	87学科（74.4%）	62校117学科
令和3（2021）	6,590	0.82	49校（79.0%）	95学科（81.2%）	62校117学科

2 平成16（2004）年度入試から令和4（2022）年度入試の検査内容の推移（全日制）

検査内容	H16	H19	R4
数学・英語・理科の傾斜配点	6学科（3.9%）	9学科（6.5%）	2学科（1.7%）
小論文又は作文	60学科（39.2%）	3学科（2.6%）	0学科（0.0%）
適性検査	8学科（5.2%）	6学科（4.3%）	5学科（4.3%）

※ 平成16年度入試から導入。

※ 検査日は、平成16～18年度入試は2日間、平成19年度入試からは1日間。

### 3 平成28（2016）年度入試から令和4（2022）年度入試の選抜方法の推移（全日制）

選抜方法		H28	R4
①	A選考100%	34学科（27.4%）	72学科（61.5%）
②	A選考70% → B選考30%	15学科（12.1%）	13学科（11.1%）
③	A選考70% → B選考20% → C選考10%	48学科（38.7%）	20学科（17.1%）
④	A選考70% → B選考10% → C選考20%	11学科（8.9%）	3学科（2.6%）
⑤	A選考70% → C選考30%	6学科（4.8%）	5学科（4.3%）
⑥	A選考70% → C選考20% → B選考10%	10学科（8.1%）	4学科（3.4%）
⑦	A選考70% → C選考10% → B選考20%	0学科（0.0%）	0学科（0.0%）

※ 平成28年度入試から現行の方法。

※ 配点及びABC選考

学力検査	500		1000
調査書（9教科の中学1～3年生の評定）	440	500	
面接等	60		
小論文・作文 ※一部			
適性検査（実技等） ※一部			

A選考は、学力検査：調査書、面接等 = 5：5

B選考は、学力検査：調査書、面接等 = 3：7

C選考は、学力検査：調査書、面接等 = 7：3

### 4 令和2（2020）年度入試における面接方法等（全日制）

学級数	面接方法 (集団又は個人)	1人当たりの 面接時間(平均)	開始時刻 (平均)	終了時刻 (平均)
小規模校 (1～3学級、30校)	個人23校、集団7校	約4分55秒	15：02	16：25
中・大規模校 (4～7学級、32校)	個人4校、集団28校	約3分26秒	15：04	16：47
合計 (62校)	個人27校、集団34校	約4分09秒	15：03	16：36

※ 令和2年度入試における理科の検査終了時刻 14：40

※ 令和3、4年度入試では、新型コロナウイルス感染症対策のため面接を実施していない。

5 令和3年6月に県内公立中学校長及び県立高等学校長を対象に実施したアンケート調査結果のうち、一般入試の面接に関する部分（第1回委員会資料から再掲）

※ アンケートで最も「変更すべき」の割合が大きかった項目

回答数（割合）

	中学校	高等学校
現在のままでよい	94 (69.6%)	43 (66.2%)
変更すべき	41 (30.4%)	22 (33.8%)

「変更すべき」の主な内容

中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己アピールカードの作成指導が中学校の負担となっており、負担に見合った面接が行われていないと感じるため、面接の廃止、自己アピールカードの廃止、又は自己アピールカードを当日記入するなど見直すべき。(26)</li> <li>・面接で十分なため、自己アピールカードを廃止すべき。(9)</li> <li>・受検者の志望動機を確認することは必要と考えられるため、リモートでも面接を実施すべき。(2)</li> </ul>
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人当たりの面接時間は3分程度であり、受検生は周到に準備して臨むため、評価に差が出ない現状である。また、面接室ごとの公平性確保が難しいこともあり、感染症対策の観点からも、廃止、実施を学校判断、実施しても得点化しない、自己アピールカードの廃止など行うべき。(21)</li> <li>・調査書、自己アピールカードで受検生を把握できるため、廃止すべき。</li> </ul>

## Ⅱ 現行の推薦入試

### 1 主な経緯

年度（西暦）	内 容
昭和53（1978）	・農業、工業、商業、水産、家庭学科で開始（定員の10%）。
昭和57（1982）	・定員の20%に割合拡大。
昭和59（1984）	・体育科で開始（体育科は定員の30%）。
昭和61（1986）	・理数科、英語科で開始（理数、体育、英語科は定員の30%）。
昭和62（1987）	・普通科の職業に準ずるコースで開始。 ・全学科について、割合を定員の20又は30%に変更。
昭和63（1988）	・普通科の芸術、外国語、体育学系で開始。
平成元（1989）	・普通科のうち希望校で開始（定員の5%程度）。
平成4（1992）	・普通科の全校で開始。 <b>【募集定員】</b> 普通科…定員の5%程度 普通科の芸術・外国語・体育情報系学系・コースは、定員の20又は30% 専門学科…定員の20又は30%
平成6（1994）	・割合の拡大。 <b>【募集定員】</b> 普通科…定員の10%以内 普通科の芸術・体育学系・コース、体育科は、定員の50%以内 専門学科…定員の20又は30% 総合学科…定員の20%以内
平成8（1996）	・普通科で定員の10%、体育科で定員の50%に割合の固定化。 ・総合学科で、定員の30%に割合拡大。
平成11（1999）	・総合学科で、定員の20又は30%に割合の弾力化。
平成16（2004）	・ <b>推薦入試を廃止し、新しい入学者選抜（ABC選考）を導入。</b> ※ 旧制度では、高校側が望んでいる生徒像や推薦基準が明示されず、中学校が志願者を推薦するに当たって困難な面も見られた。 ※ 推薦入試に代わるものとして、調査書点重視のB選考（学力検査：調査書等が1：9～3：7で定員の1～2割を選抜）の導入。
平成19（2007）	・ <b>現行の推薦入試の開始。</b> <b>【応募資格】</b> ・ 県内中学校等を卒業見込みの者又は前年度卒業者 ・ スポーツ、文化・芸術等において顕著な成績を収める者 ・ 各高校の推薦基準を満たす者 <b>【募集定員】</b> 定員の10%以内。ただし、普通科の体育・芸術系、体育科は20%以内。
平成20（2008）	・ 志願先に2つ以上の学科がある場合、第2・第3志望も可能に変更。



平成21（2009）	・体育・芸術系・コース、体育科で、定員の50%以内に割合拡大。				
平成28（2016）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募資格Bとして、「将来の職業選択や社会貢献に強い意欲を持っている者」を追加（従来の応募資格は、応募資格A）。</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>応募資格A</td> <td>: スポーツ、文化・芸術等において顕著な実績を持つ者</td> </tr> <tr> <td>応募資格B</td> <td>: 将来の職業選択や社会貢献に強い意欲を持っている者</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦入試合格者を対象とした学力調査を一般入試検査日に実施開始。</li> </ul>	応募資格A	: スポーツ、文化・芸術等において顕著な実績を持つ者	応募資格B	: 将来の職業選択や社会貢献に強い意欲を持っている者
応募資格A	: スポーツ、文化・芸術等において顕著な実績を持つ者				
応募資格B	: 将来の職業選択や社会貢献に強い意欲を持っている者				
令和2（2020）	・専門学科・総合学科で応募資格A及びBの両方で募集する場合、農業学科は定員の20%以内、農業学科以外は15%以内に割合拡大。				

## 2 推薦入試に係る状況

### (1) 志願倍率の低下、志願者が0名の学校・学科の増加

- ・志願倍率は、平成25年度以降は減少傾向で、平成26年度以降は1倍を下回っている状態。
- ・志願者が0名の学校及び学科の割合は、増加傾向で、いずれも全体の約2割。
- ・各高校が示す推薦基準は、要件が多様化及び拡大化の傾向、また、部活動等実績の水準は低下の傾向。

### (2) 従来の部活動の在り方の見直し

#### ア 「岩手県における部活動の在り方に関する方針」（平成30年策定、令和元年改定）

- ・平成30年に「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」（スポーツ庁）、「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」（文化庁）に基づくもの。
- ・活動時間及び休養日の設定基準を示し、各学校が「学校の部活動に係る活動方針」を策定することとした。
- ・令和元年の改定で、部活動は自主的・自発的な参加により行われるものであり、参加を義務付けたり、活動を強制したりしないこと、体罰・暴言等の根絶を図ることを明記。
- ・県内中学校及び高校で、部活動参加の任意化が進められている。

#### イ 「いわての中学生のスポーツ・文化活動のこれから」（岩手県「中学生スポーツ・文化活動に係る研究」有識者会議）

- ・令和3年3月に岩手県「中学生スポーツ・文化活動に係る研究」有識者会議が県教育委員会に対して行った提言。
- ・県教育委員会の役割・取組は、「岩手県における部活動の在り方に関する方針」（上記ア）の内容検討及び再改定、公立高校の推薦入試の在り方について検討など。
- ・学校に求められる役割・取組は、自主的・自発的な部活動を推進。具体的には、活動方針や部活動の意義について、また、「所属しない」という選択肢があることについて生徒・教員・保護者での共通理解など。

### (3) 県教育委員会でのスクール・ミッション策定、各高校でのスクール・ポリシー策定

- ・令和3年3月に学校教育法施行規則が一部改正され、学校設置者が各高校の存在意義・社会的役割等を明確化し再定義することとなった（スクール・ミッション）。
- ・令和3年10月に県教育委員会は「いわての高校魅力化グランドデザイン for 2031（岩手県立高等学校に関するスクール・ミッション）」を策定。

- ・各高校は、地域や関係機関と連携しながら、令和4年度中に入口から出口までの教育活動の指針を定め、公表（スクール・ポリシー）。
- ・スクール・ポリシーは、「育成を目指す資質・能力に関する方針」、「教育課程の編成及び実施に関する方針」、「入学者の受入れに関する方針」の3つの方針。

## 【推薦入試に関するデータ】

### 1 志願者数、志願倍率等

年度（西暦）	志願者数	志願倍率	志願者0名の学校数及び学科数		推薦入試を計画した学校数及び学科数
			学校数（割合）	学科数（割合）	
平成19（2007）	1,131	1.04	11（15.7%）	19（14.3%）	70校133学科
平成20（2008）	1,118	1.04	7（10.6%）	16（12.6%）	66校127学科
平成21（2009）	1,092	0.95	9（14.1%）	19（15.3%）	64校124学科
平成22（2010）	1,138	0.99	8（12.5%）	13（10.4%）	64校125学科
平成23（2011）	1,151	1.03	9（14.1%）	19（15.2%）	64校125学科
平成24（2012）	1,067	0.96	7（10.9%）	20（16.0%）	64校125学科
平成25（2013）	1,141	1.03	7（10.9%）	12（9.6%）	64校125学科
平成26（2014）	1,098	1.00	5（7.9%）	19（15.3%）	63校124学科
平成27（2015）	947	0.86	11（17.5%）	30（24.2%）	63校124学科
平成28（2016）	1,036	0.95	8（12.7%）	27（21.8%）	63校124学科
平成29（2017）	1,004	0.92	8（12.7%）	23（18.5%）	63校124学科
平成30（2018）	958	0.91	12（19.0%）	29（23.8%）	63校122学科
令和元（2019）	978	0.96	13（20.6%）	25（20.8%）	63校120学科
令和2（2020）	914	0.86	13（21.0%）	27（23.1%）	62校117学科
令和3（2021）	886	0.82	11（17.8%）	26（22.2%）	62校117学科

※ 「志願者0名」の学校数、学科数の割合は、それぞれ推薦入試を計画した学校数、学科数に対する割合。

## 2 平成22（2010）年度入試から令和2（2020）年度入試の各高校が示す推薦基準の推移

※ 応募資格A「スポーツ、文化・芸術活動、特別活動（生徒会活動等）、その他校内外の活動（ボランティア活動、地域貢献活動等）において顕著な実績を持つ者」等の推移

項目		学校数 (%)
募集定員に対する割合 (5%、10%等)	拡大	10 (16.1%)
	変化なし	51 (82.3%)
	縮小	1 (1.6%)
部活動等実績の水準 (県大会ベスト8以上、地区大会3位以上等)	緩和	18 (29.0%)
	変化なし	35 (56.5%)
	厳格化	9 (14.5%)
要件 (対象とする部活動の拡大・縮小、生徒会活動やボランティア活動の追加・削除、応募資格Bの追加等)	拡大	43 (69.4%)
	変化なし	15 (24.2%)
	縮小	4 (6.5%)

## 3 応募資格B「将来の職業選択や社会貢献に強い意欲を持っている者」の実施校数・志願者数の推移

年度（西暦）	志願者数	実施校数	実施学科数
平成28（2016）	26	13	26
平成29（2017）	34	13	28
平成30（2018）	21	13	27
令和元（2019）	29	12	26
令和2（2020）	48	14	32
令和3（2021）	68	16	37
令和4（2022）		18	45

※ 平成28年度入試から導入。

※ 令和2年度入試から、専門学科・総合学科で応募資格A及びBの両方で募集する場合、農業学科は定員の20%以内、農業学科以外は15%以内に割合拡大。

※ 合格者数は公表していない。

### Ⅲ 全国の入試制度（令和3年度入試、全日制）

#### 1 全国の入試制度の傾向

##### (1) 入試日程等

ア 検査の実施回数（二次募集を除く）

1回	2回	3回
12	33	2

イ 検査日の総日数

1日	2日	3日	4日	5日
1	12	26	7	1

##### (2) 推薦入試・特色入試

（一般入試とは別に募集・検査・合格発表を行う入試、又は、一般入試とあわせて募集・検査を行うが一般入試とは異なる選抜方法で行う入試）

ア 実施状況

一般入試とは別に実施			一般入試と 同時に実施
中学校長の推薦を要 する入試のみ	中学校長の推薦を要 しない入試のみ	両方	
15	16	4	12

イ 実施時期

一般入試とは別に実施				一般入試と 同時に実施
1月		2月		
中旬	下旬	上旬	中旬	12
2	6	24	4	

ウ 一般入試とは別に実施する場合の検査日数

1日	2日	3日以上
22	12	1

エ 中学校長の推薦を要しない入試の検査・選抜内容（28府県で実施）

面接	調査書	実技	学力検査	作文・ 小論文	プレゼン・ 自己PR	口頭試問
25	22	20	20	19	11	3

##### (3) 一般入試

ア 検査日の日数

1日	2日	3日以上
13	32	2

イ 面接の実施

全員に実施	学科により実施	実施しない
18	27	2

ウ 学力検査：調査書（評定）の取扱い

全て統一	定員の一部で学校ごと	定員の全部で学校ごと
20	10	17

2 各都道府県の入試日程（検査の実施時期、検査日数）

番号	都道府県	1月		2月			3月	
		中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
1	北海道			推薦 1			一般 2	
2	青森						一・特 1	
3	岩手		推薦 1				一般 1	
4	宮城						特・共 2	
5	秋田		前期 1				一般 1	
6	山形			推薦 1			一般 2	
7	福島						特・一 3	
8	茨城						特・共 2	
9	栃木			特色 2			一般 1	
10	群馬			前期 1		後期 2		
11	埼玉					一般 2		
12	千葉					一般 2		
13	東京		推薦 2			一・前 1	後期 1	
14	神奈川			共通 4				
15	新潟			特色化 1			一般 2	
16	富山			推薦 1			一般 2	
17	石川			推薦 1			一般 2	
18	福井	推・特 1					一般 2	
19	山梨		前期 2				後期 1	
20	長野			前期 1			後期 1	
21	岐阜						第一次 2	
22	静岡						一般 2	
23	愛知						推・一 2	
24	三重			前・ス 2			後期 1	
25	滋賀			推・ス・特 2			一般 2	
26	京都				前期 2		中期 1	
27	大阪				特別 2		一般 1	
28	兵庫				推・特 2		一般 2	
29	奈良				特色 2		一般 1	
30	和歌山							一・ス 2
31	鳥取			推薦 1			一般 2	
32	島根	推・ス 1					一般 2	
33	岡山			特別 2			一般 2	

34	広島			推薦 1			一般 2	
35	山口			推薦 1			第一次 1	
36	徳島			特色 1			一般 2	
37	香川			自己推薦 1			一般 2	
38	愛媛			推薦 1			一般 2	
39	高知						A日程 2	
40	福岡		特色化 2	推薦 2			一般 1	
41	佐賀			特別 1			一般 2	
42	長崎			前期 2			後期 2	
43	熊本			特色 1			一般 2	
44	大分			推薦 2			第一次 2	
45	宮崎			推・ス 1			一般 2	
46	鹿児島			推薦 1			一般 2	
47	沖縄		推薦 1				一般 2	

### 3 各都道府県の状況

番号	都道府県	選抜制度	
1	北海道	推薦	一般
		<b>【出願要件】</b> ・中学校長の推薦 <b>【検査・選抜】</b> ・個人調査書、推薦書、面接 ・学校によって、英語の聞取テスト・問答、実技、作文、自己アピール文提出	<b>【面接】</b> 全員に実施。 <b>【学校の特色】</b> ・実技、作文の実施可。 ・学力検査で傾斜配点可。
2	青森県	特色化	一般
		<b>【検査・選抜】</b> ・学力検査、調査書、面接 ・学校によって、調査書の評定以外（特別活動、部活動実績等）、実技検査	<b>【面接】</b> 全員に実施。 <b>【学校の特色】</b> ・一般、特色化の選抜順、割合を、各学科で設定。
3	岩手県	推薦	一般
		<b>【出願要件】</b> ・中学校長の推薦 ・スポーツ、文化、芸術等で顕著な成績を収めた者、又は、将来の職業選択や社会貢献に強い意欲を持っている者（各高校が示す推薦基準を満たす者） <b>【検査・選抜】</b> ・調査書、志願理由書、面接 ・学校によって、小論文又は作文、適性検査	<b>【面接】</b> 全員に実施。 <b>【学校の特色】</b> ・小論文又は作文、適性検査の実施可。 ・学力検査で傾斜配点可。 ・学力検査：調査書等（評定、面接等）を、A選考（5：5）、B選考（3：7）、C選考（7：3）とし、定員の3割はA～C選考の比率を各学科で設定。

4	宮城県	第一次（特色）	第一次（共通）
		<b>【検査・選抜】</b> ・調査書、学力検査 ・学校によって面接 ・学力検査の各教科は0.25～2.0倍、調査書の各教科の評定は0.25～4.0倍から各学科で設定。	<b>【面接】</b> 学科によって実施。 <b>【学校の特色】</b> ・面接、実技、作文の実施可。 ・学力検査：調査書（評定）を、7：3～3：7から各学科で設定。
5	秋田県	前期	一般
		<b>【出願要件】</b> ・各高校が示す「出願の条件」を満たしている者 <b>【検査・選抜】</b> ・調査書、志願理由書、面接 ・学校によって、学力検査（国・数・英）又は口頭試問、作文、実技	<b>【面接】</b> 全員に実施。 <b>【学校の特色】</b> ・学力検査、調査書（評定）のそれぞれの合格範囲を示す相関図は各学科で設定。
6	山形県	推薦（自己推薦）	一般
		※ 普通科では実施しない。 <b>【出願要件】</b> ・各高校の出願要件を満たした者 <b>【検査・選抜】</b> ・調査書、面接 ・学校によって、適性検査、作文、実技検査、基礎学力検査、自己申告書	<b>【面接】</b> 全員に実施。 <b>【学校の特色】</b> ・学力検査：調査書（評定）を、7：3～3：7から各学科で設定。
7	福島県	特色	一般
		<b>【検査・選抜】</b> ・志願理由書、調査書、学力検査、面接 ・学校によって、小論文又は作文、実技等	<b>【面接】</b> 学科により実施。 <b>【学校の特色】</b> ・学力検査で傾斜配点可。 ・調査書（評定）で傾斜換算可。
8	茨城県	特色	共通
		<b>【出願要件】</b> ・文化、芸術、体育等の分野において優れた資質・実績を有する者 ・各高校が定める出願要件を満たす者 <b>【検査・選抜】</b> ・調査書、学力検査、面接	<b>【面接】</b> 全日制では実施しない。 <b>【学校の特色】</b> ・学力検査重視：調査書重視の比率を、2：8～8：2から各学科で設定。
9	栃木県	特色	一般
		<b>【検査・選抜】</b> ・調査書、志願理由書、面接 ・学校によって、作文、小論文、学校独自検査（国・数・英、又は、総合問題）	<b>【面接】</b> 学科によって実施。 <b>【学校の特色】</b> ・学力検査：調査書を、9：1～5：5から各学科で設定。

10	群馬県	前期		後期
		<b>【検査・選抜】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査書、3教科の学力検査又は総合問題</li> <li>高校独自の検査（面接、英語面接、実技検査、作文、小論文、パーソナル・プレゼンテーション）</li> </ul>		<b>【面接】</b> 学科によって実施。 <b>【学校の特徴】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>学力検査：調査書（評定）：面接等を、各学科で設定。</li> </ul>
11	埼玉県	一般		
		<b>【面接】</b> 学科によって実施。 <b>【学校の特徴】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>学力検査：調査書（評定）を、第1次選抜では6：4～4：6、第2次選抜では7：3～3：7から各学科で設定。</li> <li>調査書の評定以外を各高校の基準で得点化し加算。</li> </ul>		
12	千葉県	一般		
		<b>【面接】</b> 学科によって実施。 <b>【学校の特徴】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査書の各教科の評定を0.5～2.0倍にできる。</li> <li>調査書の評定以外の記載内容で50点まで加点可。</li> <li>学校設定検査（面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題による検査等）の実施可。</li> <li>募集人数の2割まで、調査書（評定）、調査書（評定以外）、面接の配点を変えて選抜可。</li> </ul>		
13	東京都	一般推薦	文化・スポーツ等特別推薦	第一次、分割前期
		<b>【出願要件】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校長の推薦</li> </ul> <b>【検査・選抜】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査書、面接</li> <li>学校によって、小論文又は作文、実技検査</li> </ul>	<b>【出願要件】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校長の推薦</li> <li>1種目を指定し、応募基準を満たした者</li> </ul> <b>【検査・選抜】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査書、面接、実技検査</li> <li>学校によって小論文又は作文</li> </ul>	<b>【面接】</b> 学科によって実施。 <b>【学校の特徴】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>面接、適性検査を加算可。</li> <li>分割後期では、定員の一部をあらかじめ二次募集にする。</li> </ul>
14	神奈川県	共通		
		<b>【面接】</b> 全員に実施。 <b>【学校の特徴】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各高校の選考基準で選考。</li> <li>特色検査（実技検査又は自己表現）の実施可、特色検査を実施する場合は学力検査を3教科まで減じること可。</li> </ul>		



15	新潟県	特色化		一般
		<b>【出願要件】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校長の推薦</li> <li>・スポーツ活動、文化活動、科学分野等で秀でた実績がある者（実績について各高校で定める要件を満たす者）</li> </ul> <b>【検査・選抜】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特色化選抜推薦書、調査書、面接</li> <li>・学校によって面接以外の検査（実技、PRシート、作品提出等）</li> </ul>		<b>【面接】</b> 学校独自検査として実施可。 <b>【学校の特色】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校独自検査として、面接、PRシート、実技検査、課題作文、筆頭検査、その他も可。</li> <li>・学力検査：調査書（評定）を、7：3～3：7から各学科で設定。</li> <li>・学校独自検査点を加算。</li> </ul>
16	富山県	推薦		一般
		<b>【出願要件】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校長の推薦</li> <li>・次のa～dのいずれかの者 <ul style="list-style-type: none"> <li>a 調査書の「学習の記録」が優良</li> <li>b 専門に関する優れた能力又は実績</li> <li>c 芸術・文化・体育のいずれかで優れた能力又は実績</li> <li>d 生徒会活動等で積極的に取り組んだ実績</li> </ul> </li> </ul> <b>【検査・選抜】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書、推薦書、面接</li> <li>・学校によって、作文、実技検査</li> </ul>		<b>【面接】</b> 学科によって実施。 <b>【学校の特色】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書点（評定）又は学力検査点が募集定員の上位1割について、調査書点又は学力検査点のみで合否判定可。</li> </ul>
17	石川県	推薦		一般
		<b>【出願要件】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校長の推薦</li> <li>・普通科は、各高校の推薦要件を満たす者</li> <li>・普通科以外は、調査書に優れた点や長所の記録を有する者</li> </ul> <b>【検査・選抜】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦書、志願理由書、調査書、面接</li> <li>・学校によって、作文、適性検査</li> </ul>		<b>【面接】</b> 学科によって実施。 <b>【学校の特色】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接、適性検査の実施可。</li> </ul>
18	福井県	推薦	特色	一般
		<b>【出願要件】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校長の推薦</li> <li>・調査書の各記録が優良</li> </ul> <b>【検査・選抜】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書、面接</li> <li>・学校によって、作文、実技試験</li> </ul>	※ 推薦と併願不可。 <b>【出願要件】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各高校の資格要件（部活動等の競技実績）を満たす者</li> </ul> <b>【検査・選抜】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力検査（国、数、英）、志願理由書、面接</li> <li>・学校によって、実技試験</li> </ul>	<b>【面接】</b> 学科によって実施。 <b>【学校の特色】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学、英語の学力検査の一部はA（基礎力）・B（記述・論述型）の選択問題。</li> </ul>

19	山梨県	前期	後期
		<b>【出願要件】</b> ・各高校が定める「出願条件」に適合すると自ら考える者 <b>【検査・選抜】</b> ・調査書、学習活動及び生活状況に関する中学校長の所見、面接 ・学校によって、特色適性検査、特技、個性表現	<b>【面接】</b> 実施しない。 <b>【学校の特徴】</b> ・調査書の評定以外を各高校の基準で30段階評価。
20	長野県	前期	後期
		<b>【検査・選抜】</b> ・調査書、面接 ・学校によって、志願理由書又は自己PR文、作文又は小論文、実技検査	<b>【面接】</b> 実施しない。 <b>【学校の特徴】</b> ・専門学科では2教科について傾斜配点可（2倍まで）。
21	岐阜県	第一次	
		<b>【面接】</b> 学科によって実施。 <b>【学校の特徴】</b> ・専門領域における実技能力や部活動等の実績評価のための独自検査（面接、小論文、実技検査、自己表現）も可。 ・学力検査：調査書（評定）を、7：3～3：7から各学科で設定。	
22	静岡県	一般	
		<b>【面接】</b> 全員に実施。 <b>【学校の特徴】</b> ・学校裁量枠、共通枠で選抜。 ・学校裁量枠は、調査書、学力検査、面接、学校独自選抜資料（作文、小論文、実技検査、その他）により、各高校の選抜方法で選抜。 ・共通枠のうち25%は、学力検査又は調査書（評定）・面接による3段階の選抜。	
23	愛知県	推薦	一般
		<b>【出願要件】</b> ・中学校長の推薦 ・各高校で推薦基準を定めている ・体育学科は、運動分野で顕著な活躍をした者 <b>【検査・選抜】</b> ・推薦書、調査書、面接 ・学校によって特別検査（芸術、スポーツ） ・選抜基準は次のア～エのいずれか ア 運動、文化、芸術等で優れた能力・適性及び実績 イ 恵まれない環境を克服し、他の模範 ウ 調査書の「学習の記録」が優秀 エ 専門学科では、将来の職業意志	※ 高校をAグループ、Bグループに分け、それぞれに出願可（最大2校に出願可）。 <b>【面接】</b> 全員に実施。 <b>【学校の特徴】</b> ・受検者のうち一部は、学力検査：調査書を、4：6～6：4から各学科で設定。

24	三重県	前期	スポーツ特別枠	後期	
		<b>【検査・選抜】</b> ・面接又は自己表現、作文又は小論文、学力検査(国又は数・英)から1つ以上	<b>【出願要件】</b> ・各高校の「応募資格」を有する者 <b>【検査・選抜】</b> ・前期の内容に加えて、実技検査等	<b>【面接】</b> 学科により実施。 <b>【学校の特徴】</b> ・面接又は自己表現、作文又は小論文、実技検査の実施可。 ・選抜の最終段階で、各高校が示す「特に重視する選考資料等」を踏まえる。	
25	滋賀県	推薦	スポーツ・文化芸術推薦	特色	一般
		<b>【出願要件】</b> ・中学校長の推薦 ・各高校が示す推薦要件にふさわしい者 <b>【検査・選抜】</b> ・個人調査報告書、推薦書、面接、作文又は実技検査	※ 県の指定校のみで実施。 <b>【出願要件】</b> ・中学校長の推薦 ・各高校の推薦要件を満たす者 <b>【検査・選抜】</b> ・個人調査報告書、推薦書、実技検査 ・学校によって、面接、作文又は小論文、特色選抜の総合問題	<b>【検査・選抜】</b> ・志願理由書、個人調査報告書、口頭試問、小論文、志願理由書、総合問題又は実技検査	<b>【面接】</b> 学科によって実施。 <b>【学校の特徴】</b> ・学力検査を1教科減が可。 ・学力検査：個人調査報告書を、7：3～5：5から各学科で設定。
26	京都府	前期		中期	
		<b>【検査・選抜】</b> ・報告書、学力検査(共通又は学校独自)、面接、作文又は小論文、活動実績報告書、実技検査		※ 2校まで志願可。 <b>【面接】</b> 学科により実施。 <b>【学校の特徴】</b> ・第1志望から合格を決定する割合を設定可。	
27	大阪府	特別		一般	
		<b>【検査・選抜】</b> ・調査書、学力検査、実技検査又は面接、自己申告書		<b>【面接】</b> 学科により実施。 ※ 面接を実施しない学科でも自己申告書を提出。 <b>【学校の特徴】</b> ・国語、数学、英語の学力検査は、「基礎的」、「標準的」、「発展的」の3種類から選択。 ・学力検査：調査書(評定)を、7：3～1：9から各学科で設定。	

28	兵庫県	推薦	特色	一般
		<p>※ 普通科普通コースは実施しない。</p> <p>【出願要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校長の推薦</li> </ul> <p>【検査・選抜】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書、推薦書、面接、</li> <li>・学校によって、小論文（作文）、適性検査、実技検査</li> </ul>	<p>【検査・選抜】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書、面接</li> <li>・学校によって、実技検査、小論文（作文）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2校まで志願が可能。</li> </ul> <p>【面接】 学科により実施。</p> <p>【学校の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合学科では音・美・保体・技家の実技検査1つを国・数・社・理・英の検査に代替可。</li> </ul>
29	奈良県	特色		一般
		<p>【検査・選抜】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書、学力検査（国・数・英）</li> <li>・学校によって、学校独自検査、面接、実技検査</li> </ul>		<p>【面接】 学科によって実施。</p> <p>【学校の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書の評定の加重配点可。</li> </ul>
30	和歌山県	スポーツ推薦		一般
		<p>【出願要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校長の推薦</li> <li>・各高校の出願条件（競技と人数）を満たす者</li> </ul> <p>【検査・選抜】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推薦書、実技検査</li> </ul>		<p>【面接】 学科によって実施。</p> <p>【学校の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力検査：調査書（評定）：面接は、各学科で設定。ただし、学力検査、調査書は各3割以上。</li> </ul>
31	鳥取県	推薦		一般
		<p>【出願要件】 中学校長の推薦</p> <p>【検査・選抜】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦書、調査書、面接又は口頭試問</li> <li>・学校によって、作文又は小論文、実技検査</li> </ul>		<p>【面接】 全員に実施。</p> <p>【学校の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力検査を2教科まで減が可。</li> <li>・作文、実技検査の実施可。</li> <li>・学力検査：調査書（評定）を、8：2～2：8から各学科で設定。</li> </ul>
32	島根県	推薦	スポーツ特別	一般
		<p>【出願要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校長の推薦</li> <li>・スポーツ、文化活動等で各高校が項目を示す</li> </ul> <p>【検査・選抜】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人調査報告書、面接</li> <li>・学校によって、作文、実技検査等</li> </ul>	<p>※ 競技、学校は県が指定。</p> <p>【出願要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校長の推薦</li> <li>・実績を有する者又は優れた資質や能力を有する者</li> </ul> <p>【検査・選抜】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接、書類選考</li> </ul>	<p>【面接】 学科により実施。</p> <p>【学校の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面接、実技検査の実施可。</li> <li>・学力検査：個人調査報告書を、6：4～2：8から各学科で設定。</li> </ul>

33	岡山県	特別	一般
		<p>※ 普通科では実施しない。</p> <p>【検査・選抜】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書、学力検査（国・数・英）、面接、選択実施の検査（口頭試問、小論文、作文、実技から1つ以上）</li> <li>・学力検査の成績が一定以上ならば、あらかじめ示している実績の重視も可</li> </ul>	<p>【面接】全員に実施。</p> <p>【学校の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力検査の成績が一定以上ならば、調査書・面接重視の選抜も可。</li> </ul>
34	広島県	選抜（Ⅰ）（推薦）	選抜（Ⅱ）（一般）
		<p>【出願要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校長の推薦</li> <li>・各高校の推薦基準を満たす者</li> </ul> <p>【検査・選抜】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦書、志望理由書、調査書、面接</li> <li>・学校によって学力検査以外の独自検査</li> </ul>	<p>【面接】学科によって実施。</p> <p>【学校の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自校作成問題を学力検査に追加・代替可。</li> <li>・定員の2割までは学力検査重視（学力検査：調査書（評定）が7：3～9：1）又は調査書重視（学力検査：調査書（評定）が3：7～2：8）も可。</li> </ul>
35	山口県	推薦	第一次
		<p>【出願要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校長の推薦</li> <li>・各高校が定める推薦要件を満たす者</li> </ul> <p>【検査・選抜】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・推薦書、調査書、志願理由書、面接（自己表現も可）</li> <li>・学校によって、小論文、実技検査</li> </ul>	<p>【面接】全員に実施。</p> <p>【学校の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小論文、実技検査、実技検査の実施可。</li> <li>・定員の一部で、学力検査が一定以上ならば調査書、面接、小論文、実技検査で選抜可。</li> </ul>
36	徳島県	特色	一般
		<p>【検査・選抜】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書、活動記録、学力検査</li> <li>・学校によって、作文、面接、実技等</li> </ul>	<p>【面接】全員に実施。</p>
37	香川県	自己推薦	一般
		<p>【検査・選抜】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査書、自己PR書、面接</li> <li>・学校によって、総合問題（国・数・英の思考力・表現力）、作文、適性検査</li> </ul>	<p>【面接】全員に実施。</p>

38	愛媛県	推薦		一般
		<b>【出願要件】</b> ・中学校長の推薦 ・優れた実績・成果を有する者 <b>【検査・選抜】</b> ・自己アピール書、報告書、作文又は小論文、面接又は集団討論		<b>【面接】</b> 全員に実施。 <b>【学校の特色】</b> ・定員の3割は、学力検査：調査書（評定）：調査書の学習の記録以外・面接を、各学科で設定。
39	高知県	A日程		
		<b>【面接】</b> 全員に実施。 <b>【学校の特色】</b> ・学力検査、調査書（評定）のそれぞれに傾斜配点可。		
40	福岡県	推薦	特色化	一般
		<b>【出願要件】</b> ・中学校長の推薦 ・各高校が定める出願資格を満たす者 <b>【検査・選抜】</b> ・志願理由書、推薦書、調査書、面接 ・学校によって、作文、実技試験	<b>【出願要件】</b> ・各高校の出願資格を満たす者 <b>【検査・選抜】</b> ・調査書、面接 ・学校によって、作文、実技試験	<b>【面接】</b> 学科によって実施。 <b>【学校の特色】</b> ・「個性重視の特別試験」として面接、作文、実技も可。
41	佐賀県	特別		一般
		※ 県スポーツ、文化芸術指定校で実施。 <b>【検査・選抜】</b> ・調査書、学力検査（国・数・英）、実技検査、実績評価、面接		<b>【面接】</b> 全員に実施。 <b>【学校の特色】</b> ・数、英で追加問題可。 ・調査書の学習の記録以外も各校の基準で得点化。 ・学力検査：調査書（評定）を、5：5～7：3から各学科で設定。
42	長崎県	前期		後期
		特色	文化・スポーツ特別	
		<b>【検査・選抜】</b> ・調査書、検査（基礎学力検査（国・数・英）、面接、プレゼンテーション、実技、作文、小論文から選択）	※ 県指定校で実施。 <b>【出願要件】</b> ・優れた実績を有する者又は優れた資質や能力を有する者 <b>【検査・選抜】</b> ・調査書、検査（基礎学力検査（国・数・英）、面接、実技、作文、小論文から選択）	<b>【面接】</b> 全員に実施。 <b>【学校の特色】</b> ・学力検査で傾斜配点可。 ・学力検査：調査書（評定）：面接を各学科で設定。

43	熊本県	前期（特色）		後期（一般）
		<b>【検査・選抜】</b> ・調査書、学校独自検査（面接、小論文、実技検査、実験、自己表現、小中学校での総合的な学習の時間の成果に関するもの）		<b>【面接】</b> 学科によって実施。 <b>【学校の特色】</b> ・数学、英語で学校選択問題。
44	大分県	推薦		第一次
		<b>【出願要件】</b> ・中学校長の推薦 ・スポーツ、文化等で成果を収めた者（詳細は各高校で定める） <b>【検査・選抜】</b> ・調査書、推薦書、面接 ・学校によって小論文		<b>【面接】</b> 学科によって実施。 <b>【学校の特色】</b> ・学力検査：調査書を、5：5～3：7から各学科で設定。
45	宮崎県	推薦	スポーツ推薦	一般
		<b>【出願要件】</b> ・中学校長の推薦 <b>【検査・選抜】</b> ・調査書、推薦理由書、学力検査（2～3教科、傾斜配点も可）、面接、作文 ・学校によって適性検査	※ 県指定校で実施。 <b>【出願要件】</b> ・中学校長の推薦 ・全国大会並みの実績を有する者中学校長の推薦 <b>【検査・選抜】</b> ・推薦と同じ。	<b>【面接】</b> 全員に実施。 <b>【学校の特色】</b> ・学力検査で傾斜配点可。
46	鹿児島県	推薦		一般
		<b>【出願要件】</b> 中学校長の推薦 <b>【検査・選抜】</b> ・推薦書、調査書 ・学校によって面接等		<b>【面接】</b> 学科によって実施。 <b>【学校の特色】</b> ・学力検査の傾斜配点可。
47	沖縄県	推薦		一般
		<b>【出願要件】</b> ・中学校長の推薦 ・諸活動の実績を表現できる者（自己表現）又は文化芸術分野で表現できる者（個性表現） <b>【検査・選抜】</b> ・推薦入学志願書、調査書、推薦申請書、面接（自己表現、個性表現）		<b>【面接】</b> 全員に実施。 <b>【学校の特色】</b> ・学力検査：調査書（評定）を、4：6～6：4から各学科で設定。

青森、宮城、福島県の特徴選抜に係る志願者等への事前提示資料



# 青森高等学校 普通科

求める生徒像	<p>本校は「自律自啓・誠実勤勉・和協責任」の綱領のもと、変化していく社会の中で自ら進んで課題を解決し、社会の発展に貢献できる「主体性と協調性を持って果敢に未来を切り拓く生徒」の育成を目指しています。そのために、下記の要件を満たす生徒を求めます。</p>		
	一般選抜	<p>次の要件すべてを満たす生徒を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学業・人物ともに優秀で、学習意欲が旺盛な生徒。</li> <li>2 本校で学ぼうとする動機が明確な生徒。</li> <li>3 本校入学後も高い目標を持ち、その実現に意欲的な生徒。</li> </ol>	
	特色化選抜	<p>次の要件すべてを満たす生徒を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 確かな基礎学力を有し、幅広い分野に興味関心を持ち貪欲に学ぶ生徒。</li> <li>2 本校で学ぼうとする動機が明確な生徒。</li> <li>3 特別活動等において自らの責務を果たし、顕著な実績を収めるなど、集団に貢献できる生徒。</li> </ol>	
入学者選抜(選抜方法等)	<b>選抜方法【選抜順序 &lt;①特色化選抜 ②一般選抜&gt;】</b>		<b>面接及びその他の選抜資料等</b>
	一般選抜(募集人員の70%)		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 面接               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 面接方法 集団面接(1組5名)</li> <li>(2) 面接委員の構成 1組2名</li> <li>(3) 所要時間 1組10分程度</li> <li>(4) 面接内容                   <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 本校を志望した理由</li> <li>イ 興味関心のある事柄と進路志望</li> <li>ウ 高校生活への抱負</li> <li>エ 特別活動等について 等</li> </ul> </li> <li>(5) 評価の観点                   <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 内容</li> <li>イ 服装</li> <li>ウ 言葉遣い</li> <li>エ 態度 等</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>
	<p>学力検査得点(500点)と調査書の評定(135点)について群分けを行う。求める生徒像に照らし、調査書の記載内容及び面接結果を考慮しつつ、I群、II群、III群の順に総合的に判断して選抜する。</p> <p>群分けの基準</p> <p>I群 学力検査得点の順位及び調査書の順位が一般選抜人員の100%以内にあるもの。</p> <p>II群 学力検査得点の順位または調査書の順位のどちらかが一般選抜人員の100%以内にあるもの。</p> <p>III群 学力検査得点の順位及び調査書の順位が一般選抜人員の100%以内でないもの。</p>		
特色化選抜(募集人員の30%)			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各選抜資料の配点(合計850点)           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学力検査 650点 国語・数学・英語の得点を各1.5倍とする傾斜配点を行う。</li> <li>(2) 調査書 180点               <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 教科の評定 135点</li> <li>イ 特別活動等の記録 45点</li> </ul> </li> <li>(3) 面接 20点</li> </ol> </li> <li>2 上記1を基に、求める生徒像に照らし、調査書の記載内容も考慮して総合的に判断して選抜する。</li> </ol>			
再募集(選抜方法等)	<b>選 抜 方 法</b>		<b>面接及びその他の選抜資料等</b>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各選抜資料の配点(合計300点)           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学力検査(100点満点) 100点</li> <li>(2) 調査書 180点               <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 教科の評定 135点</li> <li>イ 特別活動等の記録 45点</li> </ul> </li> <li>(3) 面接 20点</li> </ol> </li> <li>2 上記1を基に、求める生徒像に照らし、調査書の記載内容も考慮して総合的に判断して選抜する。</li> </ol>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 面接           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 面接方法 個人面接</li> <li>(2) 面接委員の構成 1組2名</li> <li>(3) 所要時間 1人5分程度</li> <li>(4) 面接内容 入学者選抜と同じ</li> <li>(5) 評価の観点 入学者選抜と同じ</li> </ol> </li> </ol>

# 青森北高等学校 スポーツ科学科

求める生徒像	<p>本校では、「自治」・「協和」・「日進」の校訓のもとに、文武両道を中核として、社会の発展に寄与し得る、実践力に富む、個性豊かな人間の育成を目指しています。さらに、スポーツに関する幅広い知識を有し、個々の競技種目においては卓越した力を発揮できるエキスパート・スペシャリストの育成を目指しています。そこで、基本的な生活習慣が身に付いており、本校入学に強い意志を持ち、それぞれ下記の要件を満たす生徒を求めています。</p>		
	一般選抜	<p>次のすべての要件に該当する生徒を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎学力と優れた運動能力を有し、個々の競技種目を通して自らの競技力向上に努めるとともに、大学進学も視野に入れながら、より高度な専門性の追求に情熱を持って取り組む生徒。</li> <li>2 何事にもチャレンジする精神を持ち、文武両道に励みながら、自ら設定した目標の達成に向けて日々努力する生徒。</li> </ol>	
特選選抜	<p>次のすべての要件に該当する生徒を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本校のカリキュラムに対応できる学力を有し、それぞれのスポーツ活動において優れた能力や実績があり、本校に入学後も積極的に活動しようという強い意欲のある生徒。</li> <li>2 規範意識が身に付いており、積極的に他者とのコミュニケーションを図る意欲を持っている生徒。</li> </ol>		
入学者選抜(選抜方法等)	<p><b>選抜方法【選抜順序 &lt;①一般選抜 ②特選選抜&gt;】</b></p>		<p><b>面接及びその他の選抜資料等</b></p>
	<p><b>一般選抜(募集人員の50%)</b></p> <p>学力検査の得点(500点満点)の順位、調査書の評定の総計(135点満点)と実技検査の得点(160点満点)の合計得点(295点満点)の順位を基に下記のように群に分け、Ⅰ群、Ⅱ群、Ⅲ群の順に選抜する。 選抜にあたっては調査書の記載内容と面接を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断して選抜する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Ⅰ群…学力検査の得点の順位と調査書と実技検査の合計得点の順位がともに一般選抜人員の90%以内にあるもの。</li> <li>・Ⅱ群…学力検査の得点の順位と調査書と実技検査の合計得点の順位のうちいずれかが一般選抜人員の90%以内にあるもの。</li> <li>・Ⅲ群…学力検査の得点の順位と調査書と実技検査の合計得点の順位がともに一般選抜人員の90%以内でないもの。</li> </ul>		
	<p><b>特選選抜(募集人員の50%)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各選抜資料の配点(合計1000点) <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 学力検査 500点</li> <li>(2) 調査書 270点 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 教科の評定 135点</li> <li>イ 部活動等 最大 135点</li> </ul> </li> </ul> <p>(全国大会入賞135点、全国大会出場・東北大会入賞110点、東北大会出場70点、県大会入賞50点、県大会出場10点) ただし、3位以内を入賞とし、中体連主催・共催のもの他、県・地区選抜選手になるなど特筆できる実績及びクラブチームでの成績についても上記のように得点化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(3) 実技検査 160点(各種目40点)</li> <li>(4) 面接 70点</li> </ul> </li> <li>2 上記1を基に、調査書の記載内容を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断して選抜する。</li> </ol>		
再募集(選抜方法等)	<p><b>選 抜 方 法</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各選抜資料の配点(合計900点) <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 学力検査 400点 (得点を4倍する)</li> <li>(2) 調査書 270点 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 教科の評定 135点</li> <li>イ 部活動等 最大 135点</li> </ul> </li> </ul> <p>配点については入学者選抜と同じ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(3) 実技検査 160点(各種目40点)</li> <li>(4) 面接 70点</li> </ul> </li> <li>2 上記1を基に、調査書の記載内容を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断して選抜する。</li> </ol>		<p><b>面接及びその他の選抜資料等</b></p>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 面接 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 面接方法 個人面接</li> <li>(2) 面接委員の構成 1組2名</li> <li>(3) 所要時間 1人5分程度</li> <li>(4) 面接内容 入学者選抜と同じ</li> <li>(5) 評価の観点 入学者選抜と同じ</li> </ul> </li> <li>2 実技検査 入学者選抜と同じ</li> </ol>		

# 青森工業高等学校 全学科

求める生徒像	<p>本校では優れた工業技術者となる人材を育成することを目標としています。 そのため、必要な資格取得に力を入れるとともに部活動や生徒会活動等を通して、自主的・積極的な生徒を育てることに力を入れています。</p>	
	一般選抜	<p>次のすべての要件に該当する生徒を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 工業科目や「ものづくり」に興味があり、積極的に取り組む生徒。</li> <li>2 工業科目を学ぶ上での基礎学力がある生徒。</li> <li>3 規範意識を身に付け、ルールを遵守する意識が高い生徒。</li> </ol>
	特色化選抜	<p>工業科目を学ぶ上での基礎学力と基本的な生活習慣を身につけており、スポーツ、文化活動、生徒会活動等において顕著な成果を収め、入学後も継続して熱心に取り組む生徒。</p>
入学者選抜(選抜方法等)	<b>選抜方法【選抜順序 &lt;①一般選抜 ②特色化選抜&gt;】</b>	
	<b>一般選抜(募集人員の85%)</b>	
	<p>学力検査の得点(500点満点)の順位、調査書の評定の総計(135点満点)の順位を基に下記のように群に分け、I群、II群、III群の順に選抜する。 選抜にあたっては、調査書の記載内容と面接を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断し選抜する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I群…学力検査と調査書の順位がともに一般選抜人員の90%以内にあるもの。</li> <li>・II群…学力検査又は調査書のいずれかの順位が一般選抜人員の90%以内にあるもの。</li> <li>・III群…学力検査と調査書の順位がともに一般選抜人員の90%以内でないもの。</li> </ul>	<p>1 面接</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 面接方法 個人面接</li> <li>(2) 面接委員の構成 1組2名</li> <li>(3) 所要時間 1人5分程度</li> <li>(4) 面接内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 志望の動機と理由</li> <li>イ 高校生活への抱負</li> <li>ウ 将来の生活設計</li> <li>エ 中学校における活動状況</li> <li>オ ものづくりに対する関心</li> <li>カ その他</li> </ul> </li> <li>(5) 評価の観点 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 意欲</li> <li>イ 内容</li> <li>ウ 表現力</li> <li>エ 服装・容儀</li> <li>オ 態度 等</li> </ul> </li> </ol>
<b>特色化選抜(募集人員の15%)</b>		
	<p>1 各選抜資料の配点(合計850点)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学力検査 400点 (各教科の得点を80点満点に換算する)</li> <li>(2) 調査書 250点 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 教科の評定 135点</li> <li>イ 特別活動 45点 (学級活動15点、生徒会活動15点、学校行事15点)</li> <li>ウ 部活動 最大 70点 入賞歴 入賞歴については、3年間を通じて最も成績の良いものを点数化の対象とする。【東北・全国大会入賞最大60点、県大会入賞最大40点、地区大会入賞最大20点】</li> <li>部長経験 10点</li> </ul> </li> <li>(3) 面接 200点</li> </ol> <p>2 上記1を基に、調査書の記載内容を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断して選抜する。</p>	
再募集(選抜方法等)	<b>選 抜 方 法</b>	
	<p>1 各選抜資料の配点(合計635点)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学力検査(100点満点) 300点 得点を3倍とする。</li> <li>(2) 調査書の評定 135点</li> <li>(3) 面接 200点</li> </ol> <p>2 上記1を基に、調査書の記載内容を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断して選抜する。</p>	<p>1 面接</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 面接方法 個人面接</li> <li>(2) 面接委員の構成 1組2名</li> <li>(3) 所要時間 1人5分程度</li> <li>(4) 面接内容 入学者選抜と同じ</li> <li>(5) 評価の観点 入学者選抜と同じ</li> </ol>

学校名	宮城県仙台第一高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	普通科	募集定員	320人
-----	-------------	----	-----	---------------	-----	------	------

## 求める生徒像

本校は、校訓である「自重献身」、標語「自発能動 以亮天功」のもと、社会に対する健全な批判力をもち、自主自立の精神に充ちた、心身ともに健康な、国家及び社会の有為な形成者となる生徒の育成に努めています。  
そこで、本校の目指す人間像に共感し、高校生活のあらゆる場面で自己の可能性を追求しながら、豊かな人間性を磨いていこうとする、次の1～4の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 極めて優秀な学力を有し、学問の本質を探究する意欲にあふれた生徒
- 2 課題の解決や発信に積極的で、よりよい社会の構築にむけて理想を実現しようとする高い志を有する生徒
- 3 幅広い知識、または優れた技能を有し、主体的な学習者として、継続的に日々努力できる生徒
- 4 部活動、特別活動、校外活動等で中心的な役割を担い、または優れた能力や顕著な実績があり、入学後もリーダーシップを発揮し、協同的に活動できる生徒

特に、特色選抜においては、上記の3、4を重視します。

## 第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜	特色選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース	➔		なし
<b>共通選抜</b>	288人（募集定員の90%）		
学力検査:調査書	7 : 3		
<small>学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は7:3とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」</small>			
<b>特色選抜</b>	32人（募集定員の10%）		
<b>I 配点</b> 1 調査書 195点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科……………全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭……………全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 500点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科……………得点を1.0倍にする 合計 695点 <b>II 選抜方法</b> ・ 審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する32人の200%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。			

## 第二次募集（選抜方法等）

I 配点	面接・実技・作文
1 調査書 195点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科……………全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭……………全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 ・ 国語, 数学, 英語(各教科100点満点) 3 面接 55点 合計 550点 <b>II 選抜方法</b> 上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。	<b>I 面接</b> 1 形態 個人面接 2 時間 15分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 将来の進路志望 (4) 口頭試問 4 観点 (1) 態度 15点 (2) 表現力 15点 (3) 理解力 25点



学校名	宮城県多賀城高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	災害科学科	募集定員	40人
-----	------------	----	-----	---------------	-------	------	-----

## 求める生徒像

多賀城高校は「一人一人が生き生きと自分を伸ばせる学校」を目指し、創立以来、地域社会の期待に応えてきました。そして、多賀城高生は「自身を大きく成長させるための努力を惜しまない」高校生活を送ってきました。

特に災害科学科では、課題研究や校外研修等を通して防災・減災・環境等に関する学びを深め、「命とくらしを守る」未来の創造者の育成を目指しています。

そこで、災害科学科では次の1～4に当てはまる生徒を求めます。

- 1 挨拶や言葉遣いなど、基本的な生活習慣が身に付いている生徒
- 2 中学校での学習への取り組みが良好かつ成果が優秀であり、特に数学・理科の成績に秀でている生徒
- 3 本学科への志望動機が明確であり、入学後も上級学校への進学を視野に入れつつ、継続的に努力できる生徒
- 4 部活動や特別活動等においてリーダーシップを発揮するとともに、互いの立場を考え、他者とのコミュニケーションを取ることができる生徒

特に、特色選抜においては、上記の2～4を重視します。

## 第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	特色選抜	共通選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる 学科・コース		普通科	面接
<b>共通選抜</b>		24人（募集定員の60%）	I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 5分程度 3 内容 (1) 志望動機 (2) その他 4 観点 (1) 志望動機の明確さ (2) 表現力等  ※面接については、1日目に実施する。
学力検査：調査書		6 : 4	
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6:4とする。 ※調査書点：「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」			
	<b>特色選抜</b>	16人（募集定員の40%）	
I 配点 1 調査書 195点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 ……全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭…全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 600点 ・ 国語, 社会, 英語…得点を1.0倍にする ・ 数学, 理科…得点を1.5倍にする 3 面接 3段階評価(A～C) 合計 795点 II 選抜方法 ・ 審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、面接の結果や調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。			

## 第二次募集（選抜方法等）

		面接・実技・作文
I 配点 1 調査書 195点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科 ……全学年の評定を1.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭…全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 ・ 国語, 数学, 英語(各教科100点満点) 3 面接 3段階評価(A～C) 合計 495点 II 選抜方法 上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。		I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 10分程度 3 内容 第一次募集の内容に加えて中学校での活動状況等も聞く 4 観点 第一次募集と同じ

学校名	宮城県農業高等学校	課程	全日制	学科 (コース・部)	農業機械科	募集定員	40人
-----	-----------	----	-----	---------------	-------	------	-----

## 求める生徒像

本校では、教育目標である「自然を愛し、心身共に健康でたくましく」を体現し主体的で創造的な生徒の育成に努めています。また、県内の生命・食・環境・エネルギー等の農業に関する教育の中心校として、新しい時代を担い地域振興に貢献できる志を養い、生命に向き合う優しさや他者とコミュニケーションが図れる人間の育成を目指しています。

地域社会のリーダーを目指し、その実現のために大学又はその他の上級学校等への進学や関連産業への就職を通じて、夢を実現しようとする意欲があり、次の1～5の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 入学する志望動機が明確であり、入学後は意欲的に農業学習・学校生活に取り組み、模範生徒として活躍できる生徒
- 2 基本的な生活習慣が身に付いており豊かな人間性を磨くために努力し、互いにコミュニケーション能力を高められる生徒
- 3 本校の目標である校訓「自啓」を理解し、進路実現に向かって継続的に努力できる生徒
- 4 中学校3年間続けてきたスポーツの活動、文化的活動を高校入学後も継続して活動する意欲のある生徒
- 5 農業機械やものづくりに関する学習に強い興味・関心があり、将来の農業の担い手・地域の担い手や農業関係等への進学・就職を目指している生徒

特に、特色選抜においては、上記4及び5のいずれかに当てはまる生徒を重視します。

## 第一次募集（選抜方法等）

選抜順序	共通選抜	特色選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる学科・コース	農業科・園芸科, 食品化学科, 生活科		作文
<b>共通選抜</b>	32人（募集定員の80%）		I 作文 1 形態 質問に対して記入 2 時間 50分 3 内容 (1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 学習への興味・関心 (4) 農業学習への心構え (5) 将来の進路志望 (6) その他 4 観点 (1) 意欲・関心・態度 60点 (2) 責任感・規範意識 30点 (3) 協調性・適応性 30点 (4) 表現力・理解力 30点 ※作文については、1日目に実施する。
学力検査: 調査書	5 : 5		
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5:5とする。 ※調査書点:「5教科(国・数・社・英・理)の各学年の評定の合計」+「4教科(音・美・保体・技家)の各学年の評定の合計×2」			
<b>特色選抜</b>	8人（募集定員の20%）		
I 配点 1 調査書 220点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科……1, 2年の評定を1.0倍にし, 3年の評定を2.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭……全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 250点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科……得点を0.5倍にする 3 作文 150点 合計 620点 II 選抜方法 ・ 審査は, 学力検査点, 調査書点及び作文の得点の合計点上位の者から, 特色選抜で選抜する8人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。 ・ 学力検査点, 調査書点及び作文の得点を合計した点数を基に, 調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて, 求める生徒像に照らして総合的に審査し, 選抜する。			

## 第二次募集（選抜方法等）

	面接・実技・作文
I 配点 1 調査書 220点 ・ 国語, 数学, 社会, 英語, 理科……1, 2年の評定を1.0倍にし, 3年の評定を2.0倍にする ・ 音楽, 美術, 保健体育, 技術家庭……全学年の評定を2.0倍にする 2 学力検査 300点 ・ 国語, 数学, 英語(各教科100点満点) 3 面接 150点 合計 670点 II 選抜方法 上記Iを基に, 総合的に審査し, 選抜する。	I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 15分程度 3 内容 一次募集の作文と同じ 4 観点 一次募集の作文と同じ

令和4年度福島県立高等学校入学選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
1	福島県立福島高等学校	全日制

【前期選抜】

特色選抜

募集		選抜資料				備考
大学科 小学科	定員枠	調査書	特色面接	特色検査	選抜資料の満点	
普通科	5% 程度	「各教科の学習の記録」は 傾斜配点を実施し、音楽、美 術、保健体育、技術・家庭の 4教科の評定を2倍とし、 195点満点とする。「特別活 動等の記録」と「長所・特技 等の記録」は合わせて55点 満点として、合計250点満点 とする。	個人面接を実施する。 面接は段階評価する。	実施しない。	全体の満点は、500点 とする。	
志願してほしい生徒像						
<p>本校は、梅章のおしえ「清らかであれ、勉勵せよ、世のためたれ」を教育の基本におき、高い理想と豊かな徳性を備え、広く深い知性と健やかな心身を持つ有為な人材を育成することを教育目標としている。</p> <p>このことを踏まえ、本校の特色選抜においては、文武両道を実践できる以下の要件をすべて満たす生徒の出願を求める。</p> <p>① 中学時代の部活動等における顕著な実績を持ち、本校においてもそれらを継続して主導的に活動する明確で強い意思を持つ生徒。（募集する部活動等については本校募集要項に記載する。）</p> <p>② 主体的自律的な学習態度を備え、中学校の教科の学習において優秀な成績を収め、本校においてより高度な学習に挑戦する生徒。</p> <p>③ 様々な分野においてリーダーとなり、社会に貢献する意欲と実行力を持つ生徒。</p>						
学力検査	5教科とする。 学力検査の満点を250 点とする。	特色選抜志願理由書	本校への志望動機及び 将来への抱負、高校生活 で特に学びたいこと等に ついて本人が記入する。 特に、主体的に取り組み うとする部活動につい て、中学時代の部活動等 の実績とともに具体的に 記入する。			

令和4年度福島県立高等学校入学選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
1	福島県立福島高等学校	全日制

一般選抜

大学科 普通科	募集定員 (280)	選抜資料		学力検査と調査書の成績の比重 同等とする。	備考
		学力検査	調査書		
		5教科とする。 傾斜配点を実施しない。 学力検査の満点を250点とする。	「各教科の学習の記録」は195点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計250点満点とする。		
			実施しない。		

【後期選抜】

大学科 普通科	選抜資料		備考
	調査書	面接	
	「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計190点満点とする。	個人面接を実施する。 面接の内容には、中学校における学習活動の成果を問う内容(数学)を含む。 面接については点数化し、30点満点とする。	小論文(又は作文) 小論文を実施する。 ある資料を読み、設問に対する自分の意見をまとめる小論文とする。 小論文については点数化し、120点満点とする。



令和4年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
75	福島県立ふたば未来学園高等学校	全日制

【前期選抜】

特色選抜

志願してほしい生徒像  本校は、建学の精神「変革者たれ」、校訓「自立」「協働」「創造」のもと、自らが新しい生き方、新しい地域、新しい価値の創造者となり、グローバルな視点で自らと社会を変革していく人材を育成している。そのため、本校の特色選抜においては、本校トップアスリート系列の生徒としてスポーツを通してそれらを実現する生徒を求め、具体的な対象とする競技種目で顕著な競技実績または高い能力を有し、その競技力を生かして自らの進路を切り拓き、トップアスリートや生涯スポーツ社会のリーダーとして社会を牽引しようとする生徒を求め、 対象競技種目：サッカー（男女） 野球（男） レスリング（男女） バドミントン（男女）	募集 定員枠	35% 程度	個人面接を実施する。 面接では、地域や世界で活躍しようとする意欲や本校で学ぶ適性等について確認する。 面接は段階評価する。	各種目ごとに実技試験を実施する。実技については200点満点とする。	選抜資料の満点 全体の満点は640点とする。	備考
学力検査 5教科とする。 学力検査の満点を250点とする。	特色選抜志願理由書 本校への志願動機及び将来への抱負・進路希望、その実現のためどのような高校生活を送りたいか等について本人が記入する。 また、大会の実績等について、具体的かつ正確に記入する。	調査書 「各教科の学習の記録」は135点満点、「特別活動等の記録」は55点満点とし、合計190点満点とする。	特色面接	特色検査	選抜資料の満点	備考

令和4年度福島県立高等学校入学選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
75	福島県立ふたば未来学園高等学校	全日制

一般選抜

大学科	募集定員	選抜資料			学力検査と調査書の成績の比重	備考
		学力検査	調査書	一般面接		
総合学科	(160)	5教科とする。 学力検査の満点を250点とする。	「各教科の学習の記録」は195点満点、「特別活動等の記録」は55点満点とし、合計250点満点とする。	全員に個人面接を実施する。 面接では、地域や世界で活躍しようとする意欲や本校で学ぶ適性等について確認する。 面接は段階評価する。  トップアスリート系列を志願する者には実技試験を実施する。 競技種目については別に指定する。 実技試験については、段階評価する。	同等とする。	

【後期選抜】

大学科	選抜資料			備考
	調査書	面接	小論文（又は作文）	
総合学科	「各教科の学習の記録」は135点満点、「特別活動等の記録」は55点満点とし、合計190点満点とする。	全員に個人面接を実施する。 面接では本校で学ぶ適性等について確認する。 面接は段階評価する。  トップアスリート系列を志願する者には実技試験を実施する。 競技種目については別に指定する。 実技試験については、段階評価する。	小論文（又は作文）  思考力、判断力、表現力等を問う小論文を実施する。 字数は400字程度とし、50点満点とする。	

令和4年度福島県立高等学校入学選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
33	福島県立白河実業高等学校	全日制

【前期選抜】

特色選抜

大学科 小学科	募集 定員枠	志願してほしい生徒像
農業科 農業科 工業科 機械科 電気科 電子科 商業科 情報ビジネス科	5% 程度	<p>本校は、農業、工業、商業の3大学科、5小学科を持つ、西白河地区唯一の専門高校である。それぞれの学科において、将来、専門的な知識・技術を生かし地域社会に貢献できるスペシャリストの育成を目指し、全ての生徒に各専門分野での基礎・基本の定着を図ることを目的として教育を行っており、次のような生徒を求めている。</p> <p>学習成績が優良であり、スポーツ活動の実績または優れた資質を有し、入学後も継続して活動することを確約できる者。ただし、募集する部活動については別に定める。</p> <p>(各科共通)</p>

選 抜 資 料

学 力 検 査	特色選抜志願理由書	調 査 書	特 色 面 接	特 色 検 査	選抜資料の満点	備 考
5教科とする。 合計250点満点とする。  (各科共通)	本校の当該学科への志望動機及び将来への抱負、高校生活で特に学びたいこと等について本人が記入する。  (各科共通)	「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計190点満点とする。  (各科共通)	個人面接を実施する。面接については、点数化し、30点満点とする。  (各科共通)	実技を実施する。実技については、各種技能や基本的な身体能力をみる。実技については30点満点とする。  (各科共通)	全体の満点は500点とする。	

令和4年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
33	福島県立白河実業高等学校	全日制

一般選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	一 般 面 接		
農業科 農業科 工業科 機械科 電気科 電子科 商業科 情報ビジネス科	(40)   (80) (40) (40)  (40)	5教科とする。 合計250点満点とする。  (各科共通)	「各教科の学習の記録」は195点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計250点満点とする。  (各科共通)	集団面接を実施する。 志願者の適性と目的意識を確認するとともに、表現力についてみる。 面接については、段階評価する。  (各科共通)	同等とする。  (各科共通)	

【後期選抜】

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文(又は作文)	
農業科 農業科 工業科 機械科 電気科 電子科 商業科 情報ビジネス科	「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計190点満点とする。  (各科共通)	個人面接を実施する。 面接の内容には、中学校における学習活動の成果を問う内容(国語、社会、数学、理科、英語)を含む。 面接については、点数化し、45点満点とする。  (各科共通)	作文を実施する。 あるテーマについて、自分の感想や思いを述べる600字程度の作文とする。 作文については、点数化し、30点満点とする。  (各科共通)	

令和4年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
75	福島県立ふたば未来学園高等学校	全日制

【連携型選抜】

大学科 小学科	募集 定員枠	選 抜 資 料					備 考
		学 力 検 査	調 査 書	連 携 型 面 接	連 携 型 検 査	選抜資料の満点	
総合学科	30% 程度	5教科とする。 学力検査の満点を 250点とする。	「各教科の学習の記録」は傾斜配点を実施し、国語、社会、数学、理科、英語の教科の評定を2倍することとし、210点満点とする。 「特別活動等の記録」は55点満点として、合計265点満点とする。	個人面接を実施する。 面接では、地域や世界で活躍しようとする意欲や本校で学ぶ適性等について確認する。 面接は段階評価する。  ※志願理由書 すべての志願者は、本校所定の様式による志願理由書を作成し提出する。 志願理由書には、本校への志願動機及び入学後の希望系列、将来への抱負・進路希望、その実現のためどのような高校生活を送りたいか等について本人が記入する。 また、大会・コンクールの実績等について、具体的かつ正確に記入する。	トップアスリート系列の志願者については各種目ごとに実技試験を実施する。実技については200点満点とする。 ただし、JFAアカデミー福島に該当する者は、実技試験を免除する。	全体の満点はアカデミック系列の志願者が515点、トップアスリート系列の志願者が715点、スペシャリスト系列の志願者が515点とする。	